

活動状況報告書

1. 事業名称 松戸の農業サポート・農業ボランティア養成事業

2. 実施主体
 - 団体名 : 松戸農業サポート協議会 農業ボランティア部 野良の会
 - 事業担当課 : 農政課

3. 事業を実施する上での役割分担
 - 団体の役割
 - ①ボランティア活動希望者募集
 - ②ボランティア養成講座・現地講習会実施開催
 - ③農業全般に関わる講演会・ボランティア交流会実施開催
 - ④月例マッチング
 - ⑤活動PR活動
 - 担当課の役割
 - ①広報活動及び受付 広報まつど 市協働事業としてPR
 - ②活動に対して、信頼度が増。広報を見て応募した方の参加者の定着率向上

4. 事業の内容
 - I. ボランティア養成講座及びボランティア募集
 - ①第6期(春期)ボランティア養成講座実施内容
平成26年5月31日～6月28日 応募者14名(会員登録者7名)
募集広報: 広報まつど
 - ②第7期(秋期)ボランティア養成講座実施内容
平成27年2月14日～3月8日 応募者14名(会員登録者11名)
募集広報: 広報まつど まつど祭り まつど大農業まつり

 - II. ボランティア養成講座の実施概要
 - ①第6期(春期)ボランティア養成講座
開講: 5月31日(土) 10:00～12:00 JAとうかつ中央馬橋経済センター
現地講習会: 6/14 高橋氏圃場、6/21 近藤氏圃場、6/28 吉田氏圃場、各研修
会員登録: 7名(応募者の会員登録率 50%)
 - ②第7期(秋期)ボランティア養成講座
開講: 2月14日(土) 10:00～12:00 JAとうかつ中央馬橋経済センター
現地講習会: 2/21 高橋氏圃場、2/28 吉田氏圃場、3/8 近藤氏圃場、各研修
会員登録: 11名(応募者の会員登録率 79%)

III. 講演会の開催

- ①2月8日(日) 13:30~15:30 於 松戸市民劇場 参加者 15名
「野良の会 講演会」 講師：NPO 法人日本園芸療法研修会 澤田みどり先生

IV. マッチング

- ①毎月 25日 J Aとうかつ中央 馬橋経済センターにて開催
本事業年度中 12回開催

V. 運営会議

- ①月例及び臨時運営会議を16回 開催

VI. 慰労交流会

- ①12月7日(日) 12:00~16:00
J Aとうかつ中央 馬橋経済センターにて開催 参加者 40名

VII. PR活動

- 10月5日(日) まつど祭り(場所：松戸駅西口デッキ)
- 11月23日(日) まつど大農業まつり(場所：21世紀の森)
- 3月7日(土) 第12回NPO市民活動見本市
(場所：まつど市民活動サポートセンター)

5 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した成果目標が、どの程度達成されたのか。

《ボランティア・農家数》

①ボランティア者数 目標55人が実数68人に。

②受け入れ農家数 目標15戸が10戸

《受け入れ農家作付面積》

①1戸当たり 10%アップ目標 参加10戸中4戸の会員農家からは作付の面積が増えたとの報告を受けている。

(2) 取り組んだ課題の現状について

※解決できたこと、解決できなかったこと。

●協働の大きなテーマは「市民参加型農業による持続・拡大」

・毎月農家の活動要望を80%程度満足させる事ができた。

・ボランティア数は目標に達することはできたが、農家数は前年度と変わらない結果となった。

・運営のあり方を、中長期的に見直すこととなった。

6 今後の事業展開

※解決できなかった課題にどう対応し、この事業を今後どのように展開していくか。

- 運営事務局の不慮の事態により、今後のあり方を中長期的に見直す必要性がある。受け入れ農家、ボランティア、運営事務局がお互いに発展的意見を出し合い、運営の具体的方法を含めて、基盤固めにより一層取り組むことが責務であると思われる。

(第6条関係)

収支決算書

【労力換算(限度額算入)】

(単位:円)

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 313,000	¥ 317,500	¥ ▲4,500	※別紙 労力換算計算書 参照

【収入】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
団体	団体拠出金(対象経費分)	¥ 30,000	¥ 27,266	¥ 2,734	ボランティア会員59名/受入農家会員10名会費より充当
	自己資金の合計額 (b①)	¥ 30,000	¥ 27,266	¥ 2,734	
	事業費収入合計額 (b②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (b③)	¥ 91,000	¥ 129,400	¥ ▲38,400	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入等の合計額 (C)=(b①+b②)+b③	¥ 121,000	¥ 156,666	¥ ▲35,666	
	市 協働事業負担金 (D)	¥ 270,000	¥ 240,000	¥ 30,000	←精算額
	合計額(E)=(C+D)	¥ 391,000	¥ 396,666	¥ ▲5,666	

【支出】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	積算内訳
負担金の交付対象経費	謝礼金	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ 0	外部講師謝礼
	印刷費	¥ 60,000	¥ 80,000	¥ ▲20,000	ハンドブック・チラシ印刷
	のぼり製作費	¥ 60,000	¥ 41,580	¥ 18,420	のぼり作成
	PR用映像製作費	¥ 40,000	¥ 60,000	¥ ▲20,000	DVD製作費(30枚)
	消耗品	¥ 40,000	¥ 23,976	¥ 16,024	インク代、印刷用紙代
	使用料	¥ 50,000	¥ 31,710	¥ 18,290	現地講習会農地使用等
	保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	該当なし
	通信費	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	該当なし
	対象経費の合計(F)	¥ 300,000	¥ 267,266	¥ 32,734	
その他経費(対象外)	会費	¥ 13,000	¥ 12,000	¥ 1,000	会員の昼食代
	通信費	¥ 10,000	¥ 57,400	¥ ▲47,400	会員宛電話FAX代等
	ネット使用料	¥ 68,000	¥ 60,000	¥ 8,000	携帯電話代
	その他経費の合計額(G) = (b③)	¥ 91,000	¥ 129,400	¥ ▲38,400	
合計額(H)=(F+G)	¥ 391,000	¥ 396,666	¥ ▲5,666		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (D) が、対象となる経費 (F) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (b①) 欄が、対象経費 (F) 欄の10%以上であること。
- 3 自己資金 (b①) 欄が、「対象経費 (F) - 事業費収入 (b②) - 協働事業負担金 (D)」と同額となること。
- 4 協働事業負担金 (D) が、自己資金 (b①) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額	¥ 30,000
-----	----------

団体名 松戸農業サポート協議会 農業ボランティア部 野良の会
代表者氏名 会長 笹山 誠二

収支内訳書

【事業費の収入額】

別紙1

区分	科目	金額	内訳	摘要
団体	会費	¥156,666	会費より充当	現年度及び過年度ボランティア会費内から充当
	自己資金の合計額	¥156,666		
市	松戸市負担金	¥240,000		
合計額		¥396,666		

【事業費の支出額】

	科目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
負担金の交付対象経費	1 謝礼金	¥ 30,000	30000円*1回	講師謝礼/講師名 澤田氏 30,000円×1回
	2 印刷費	¥ 80,000	ボランティア募集チラシ 講演会チラシ ハンドブック	広報チラシの印刷代 会員募集チラシ400部、講演会チラシ400部 ハンドブック200冊
	3 のぼり製作費	¥ 41,580	のぼりデザイン作成	のぼり20枚、ポール10本
	4 PR用映像製作費	¥ 60,000	映像編集及び製作費	DVD30枚
	5 消耗品費	¥ 23,976	資料印刷用インク代 紙類	養成講座参加者用資料 運営会議用資料 講演会用資料等
	6 使用料	¥ 31,710	現地講習会農地用具使用料 講演会会場使用料	現地講習 高橋、吉田、近藤各氏 5,000円×2回 講演会会場費用(松戸市民劇場)
	7 通信費	¥ 0		
	対象経費の合計		¥267,266	
その他経費	会議費	¥ 12,000	会員の昼食代	イベント等での昼食代
	通信費	¥ 57,400	会員宛電話FAX代等	ボランティア翌月予定及び総会通知 欠席者等資料送信料等
	ネット使用料	¥ 60,000	携帯電話使用料	ボランティア翌月予定及び総会通知 欠席者等資料送信料等 日常連絡
	その他経費の合計		¥129,400	
合計額		¥396,666		